2026年度　文科カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー

DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
【幅広い教養】 言語・文学・人間心理・文化を多角的に捉えるための幅広い教養を身に付けている。	【社会への主体的な参画】 言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、広く社会に貢献するための知識と理解力をもち、ことばを通して主体的に世界と関わることができる。	【専門的なスキル】 言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、自分らしく社会を生き抜くためのコミュニケーション・スキルを身に付けている。	【課題の探究・表現】 言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、自らテーマを見つけ出し、追求する問題意識をもち、それを表現することができる。	【友愛】 言語・文学・人間心理・文化の学修で培った想像力をもち、周りの人々を思いやり、細やかに配慮することができる。	【リーダーシップ】 言語・文学・人間心理・文化の学修を通して、他者との相互関係や協同関係を作り上げ、集団のなかの自分の役割を見出し、率先して行動することができる。

カリキュラム・ポリシー

専門発展科目

CP4

日本文化・表現コース、グローバル・コミュニケーションコース、心理学コースの3つの分野に、これまでの学修を深めていく専門科目を配置する。専門発展科目では、学生の関心・意欲や目指している将来像にしたがって、各分野の科目を履修すると同時に、一つの分野にとどまらない幅広い知識・教養の獲得を目指す。
また、それぞれの学修をもとに設定したテーマを追求し、専門的知識・技術修得の成果を生かす演習科目を配置し、思考能力・表現能力の更なる向上をサポートする。

卒業研究

DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
物語の研究Ⅰ・Ⅱ 近代小説の研究Ⅰ・Ⅱ 映画で楽しむアメリカ文学		ビジネス英語 プレゼンテーションスキル 異文化間コミュニケーション 日英語比較研究 アートセラピーと化粧の心理学	物語の研究Ⅰ・Ⅱ 近代小説の研究Ⅰ・Ⅱ 児童福祉論 音楽とこころ 精神障害者保健福祉論 コミュニケーション心理 文学に見る行動心理	アートセラピーと化粧の心理学	

専門基幹科目

CP3

「専門基礎科目」で得た知識・技能との繋がりをもとに、豊かな文化的教養、社会に出て役立つ実践的な知識を涵養するための科目を設けて、未来を切り開く積極性や、他者を思いやる豊かな人間性をもった女性を育成する。
また、各分野の全体像を理解するための科目を配し、専門性を発展させる基盤を作り上げる。

DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
ことばの仕組みⅡ 現代のことばⅡ 物語を読む 近代小説を読む 日本文化・表現ゼミナール 伝統文化論 地域文化論 サブカルチャー論 ジェンダー論	ことばの仕組みⅡ 文学創作演習 心理学ゼミナール 伝統文化論 地域文化論 出版メディア論	文学創作演習 日本文化・表現ゼミナール TOEIC Listening & Reading II (Intermediate) TOEIC Listening & Reading II (Basic) 映画で学ぶ英語 ポップソングで学ぶ英語 エアポート・エアライン研究 ホスピタリティ・ツーリズムの英語 幼児教育・保育英語 ハワイ短期留学 ニュージーランド短期留学 フランス短期留学 中国短期留学 韓国短期留学 カウンセリング論 心理データ解析演習(SPSS) 心理学ゼミナール キャリアデザイン演習 出版メディア論 秘書実務を学ぶ ビジネス実務を学ぶB	現代のことばⅡ 物語を読む 近代小説を読む 日本文化・表現ゼミナール 映像メディア論 文学創作演習 発達心理学Ⅰ・Ⅱ 認知心理学 教育心理学 臨床心理学Ⅰ・Ⅱ 健康心理学 社会心理学 消費者の心理 パーソナリティ心理学 心理学ゼミナール ジェンダー論	カウンセリング論 心理学ゼミナール ジェンダー論 環境文化論	日本文化・表現ゼミナール 心理学ゼミナール 地域文化論 ジェンダー論 キャリアデザイン演習 秘書実務を学ぶ ビジネス実務を学ぶB

専門基礎科目

CP2

日本文化・表現コース、グローバル・コミュニケーションコース、心理学コースの各分野を学ぶ目的や方法を理解するための諸科目、及び「文章表現法」「コミュニケーション論」、プレゼンテーションの力を伸ばす「伝える技術」などの共通科目を設け、自律した人間として成長していくための文章表現能力やコミュニケーション能力の養成を目指す。

DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
ことばの仕組みⅠ 現代のことばⅠ 日本文学・文化の歴史(古典) 日本文学・文化の歴史(近現代) 児童文学論 映画・演劇論 アニメの物語学 文章表現法 コミュニケーション論 伝える技術 日本語教育を学ぶ ワークライフバランスと健康	ことばの仕組みⅠ 現代のことばⅠ コミュニケーション論 心理学概論 日本語教育を学ぶ	Speaking (Intermediate) Speaking (Basic) Pronunciation Writing (Intermediate) Writing (Basic) TOEIC Listening & Reading I (Intermediate) TOEIC Listening & Reading I (Basic) 心理測定法(パーソナリティ検査) 文章表現法 コミュニケーション論 伝える技術 ホスピタリティを学ぶ 秘書実務を学ぶ ビジネス実務を学ぶA 日本語教育を学ぶ	日本文学・文化の歴史(古典) 日本文学・文化の歴史(近現代) 児童文学論 映画・映像論 アニメの物語学 心理学概論 文章表現法 伝える技術 日本語教育を学ぶ	ホスピタリティを学ぶ 日本語教育を学ぶ	ワークライフバランスと健康 ホスピタリティを学ぶ 秘書実務を学ぶ ビジネス実務を学ぶA 日本語教育を学ぶ

教養教育科目

CP1

ひとりの女性・ひとりの人間として日々の生活を豊かに充実して生き、主体的に社会に参加して責任ある役割を果たすために、以下の「自律と努力コア」「創造とキャリアコア」「協働とリーダーシップコア」に区分する。

協働とリーダーシップコア	・他者と協働しながら課題解決に導くための協働性やリーダーシップを養う科目群を編成する。 ・他者と協働し様々な課題解決を□う中で、□らの価値観と多様な価値観を調整するために必要なコミュニケーションやリーダーシップを□に付けることを□指して、PBL(Project Based Learning)の□法を□いて授業を□う。
創造とキャリアコア	・新たな価値を創造し社会と積極的に関わっていくための基礎的なを□につけるとともに、社会□として必要な教養を養う科□群を編成する。 ・英語においては、プレイスメントテストの結果を踏まえた習熟度に基づくクラスを編成し、学の習熟度や希望に応じて体系的に科□群を編成する。現代の社会□活で必要となる英語コミュニケーション□を□につけるために「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」を必修とする。また、今後、進展するグローバル環境におけるキャリア形成に必要な語学能□養成するためにはTOEICのスコアアップを□指す。 ・情報リテラシーにおいては、情報化が加速する現代の社会□活で必要となる数理・データサイエンスAIに関する基礎的なリテラシーを□に付けるために、「データサイエンス□CTの基礎」を必修とする。 ・幅広い教養を□に付け、多様な視点で社会を幅広く俯瞰し必要な教養を□につけるために「□間を理解するための教養」「社会を理解するための教養」「□然を理解するための教養」「□体と健康を管理するための教養」より2単位を選択必修とする。
自律と努力コア	・初年次教育科□・キャリア教育科□として、客観的に物事を理解し、□□を確□し、□□選択び続けるための基礎的な□を養う科□群を編成する。 ・学□□活への適応、論理的な考え方や□□章作成技術の定着、ライフプランやキャリアプランの形成、課題発□、課題分析、情報収集、グループワーク、プレゼンテーションなどの課題解決に必要な技術の定着をはかるとともに、社会□として果たすべき責務を学ぶために、少□数で□う「基礎ゼミナール」「課題解決のためのリーダーシップ□」を必修とする。

DP1との関連性がとても高い科目	DP2との関連性がとても高い科目	DP3との関連性がとても高い科目	DP4との関連性がとても高い科目	DP5との関連性がとても高い科目	DP6との関連性がとても高い科目

アドミッション・ポリシー

AP1-1	AP1-2	AP2	AP3-1	AP3-2
【知識・技能】 高等学校の教育課程を幅広く修得している。	【知識・技能】 文科における学修の基盤として必要な科目の知識・技能、特に「国語」と「外国語」を通して、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションの基礎技能を身に付けている。	【思考・判断力・表現力】 物事を多角的に捉え、自らの考えを整理・表現し、他者に伝えようとする意欲・態度を有している。	【主体性を持って多様な人々と協働する態度】 他者の意見や考え方を理解・尊重し、積極的に他者と協力し社会に貢献しようという態度を有している。	【主体性を持って多様な人々と協働する態度】 他者に寄り添い、リーダーシップを発揮して、他者とともに課題に取り組もうとする意欲を有している。

※各科目は「カリキュラム・マップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。